

ディボーション質問表

31日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

1日(月) ヨシュア記 16:1~10

1. ヨセフの子供、マナセとエフライムはそれぞれが領土を受けました。つまりヨセフ部族は他の兄弟達のほぼ2倍を受けたのです。ヨセフの信仰が子孫に与えた影響を考えてみてください(創世記37:1~11)。
2. イスラエルが追い払わなかったカナン人達はそのまま住み続けました。これは神の許可によるものです。神はなぜこれを許したと思いますか。わたしたちも同じように今日、不信者と住んでいるわけですが、神は彼らを追い払えとは言いません。なぜだと思いますか。

2日(火) ヨシュア記 17:1~18

1. ツェロフハデの娘達にも相続地が割り当てられました。このことから神は女性をどう考えていると思いますか。かつての日本社会と比較してみるとどうでしょうか。
2. マナセ族はカナン人と戦う事を求められました。主な武器が青銅だった当時、鉄の戦車を持つカナン人は強力でした。わたしたちにも不可能に見えるような戦いがあります。あなたはそのようなものにどう立ち向かいますか。

3日(水) ヨシュア記 18:1~28

1. 七つの部族、ベニヤミン、シメオン、ゼブルン、イッサカル、アシェル、ナフタリ、ダン神の約束の地に進まずにとどまっていた。どこに行くべきか割り当てられていなかったからです。この章で彼らの相続地がくじで割り当てられます。あなたには神のどんな相続地が割あてられていると思いますか。
2. 彼らが積極的に占領しにいかないのがヨシュアは各部族からそれぞれ三人を選び、偵察に向かわせました。あなたには何らかの理由でさきのばしにしている神の働きがありませんか。もしあれば、祈り、調べ始めてみませんか。

4日(木) ヨシュア記 19:1~51

1. 47節でダン部族は割り当て地が広がりました。すると彼らはそこへ出て行き戦って占領しました。あなたはもし神が領土を広げてくれる、つまり新しい働きにめしてくださるなら積極的にそこへ踏み出しますか。今そうすることに何か心配がありますか。ならば祈り手を求め、共に祈ってもらいましょう。
2. ヨシュアに対して、イスラエルは一つの相続地をあたえました。このことはヨシュアがリーダーでありながら、同時に自分を神のルールのもとにおいていたしるしです。あなたは何かのリーダー的役割を担っていますか。同時にへりくだって自分を神のルールのもとにおいているでしょうか。

5日(金) ヨシュア記 20:1~9

1. 過失致死罪を犯した者のためのがれの町がケデシュ、シェケム、ヘブロン、ベツェル、ラモテ、ゴランにおかれました。これによって神のどんな性質がわかりますか。
2. 個人的な血の復しゅうを受けないために、この町が置かれました。このことから人のどんな性質がわかりますか。

6日(土) ヨシュア記 21:1~45

失敗による神の呪いも栄光を表す

1. レビ人の相続地はどのようなものでしたか(3~41節)？
 2. 創世記49:5~7は、罪を犯したことによるレビ族への呪いの預言でした。ヨシュアの時代に成就したのですが、それはイスラエル全体で神の律法が守られ、人々が礼拝できるようになるシステムとして用いられるのでした。
- 「天の父は、確かに罪を裁かれる方だが、それよりもはるかに超えた愛をもって大いなる計画を成就することを知っているだろうか？ 罪を犯したとき、潔く悔い改めているだろうか？ 自分の弱さをもって神の栄光を神さまがあらわした経験があるだろうか？」